

第21回 四万十源流 広見川上り 駅伝大会

8月20日、日本最後の清流四万十川の支流である広見川を舞台に、鬼北町の夏の一大イベント「四万十・源流広見川上り駅伝大会」が開催されました。

本来開催を予定していた8月7日は、台風接近による悪天候のため延期となり、この日の開催となった本大会。そのため、やむを得ず辞退を余儀なくされたチームが続出する中、今年も、駅伝一般の部17チーム、駅伝女子の部4チーム、鉄人の部8人の出場者が広見川の流れに挑戦しました。

兵頭誠亀北町長の合図で、豪快な水しぶきをあげながら一斉にスタートした選手たち。たすき代わりのヘルメットを仲間につなぐため、そして、一人で完走するため、それぞれが懸命に上流を目指して走りま

した。「水のある場所しか走ってはいけない」選手たち

とって、このレースは想像以上に過酷な戦い。少しでも浅いところを探したり、時には泳いだりしながら、選手それぞれが趣向を凝らしたレース展開を繰り広げました。不屈の精神で駆け抜ける選手たちの姿に、沿道や橋の上から見守る観客にも思わず力が入り、いつもは静かな広見川沿いに、選手を励ます温かな声援が響き渡っていました。

1_上流目指して走り出した選手たち／2_必死の形相で駆け抜ける／3_自然の厳しさに悪戦苦闘／4_「後は任せよう」最後の力を振り絞る仲間／5_笑顔で走り抜く選手／6_ゴールまであと少し／7_走り終えた選手を迎える仲間の笑顔



【大会結果】

● 駅伝一般の部

- ① 赤とうがらし 52分00秒
- ② 宇和島陸協 59分18秒
- ③ アメンボ軍団 1時間01分32秒



赤とうがらし

● 駅伝女子の部

- ① つぶぞロイDEかあんまあ〜ん 45分06秒
- ② M i x 57分30秒
- ③ 南予地方局フルール 57分54秒



つぶぞロイDEかあんまあ〜ん